



ドイツ留学
サポートセンター
DEUTSCHLERNZENTRUM

ドイツ留学 ガイドブック



ドイツ留学7つの魅力

1. 物価が安い

ドイツは日本人に次ぐ世界4番目の経済大国！経済大国という
と物価は高そうに思いますよね？ドイツで生活してみて驚く
のが物価が安いことです！日本よりも物価が安く、スーパー
での食材からドラッグストアの日用品まで、留学中の生活費
用を抑えることができます。お昼ご飯のサンドイッチは3ユー
ロ程度、普通のパンなら1ユーロ以下、カフェのコーヒー1
杯3ユーロ前後です。



2. 治安がいい

ヨーロッパときいて治安の心配をしていませんか？ドイツで
は女性でも安心して生活することができます。南ヨーロッパ
のように電車の中で常にスリに気を付けなければいけないこ
ともありません。日本で生活するのと同じ感覚で生活できま
す。また、日本人と同じように勤勉と言われるドイツ人。ド
イツ人男性はシャイで街中で気軽に知らない女性に声をかけ
ることもめったにありません。ナンパが少ないのも女性に
とって生活しやすいポイントです。

3. 英語が通じる

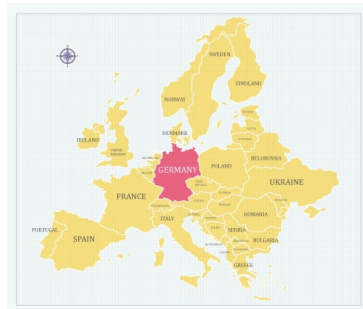
ドイツ語ができなくて不安？ドイツ人の多く
は英語を話すことができます。到着当初、全
くドイツ語が分からなくても、街中では英語
で対応してもらえることがほとんどなので途
方にくれることはありません！

特に首都ベルリンは世界中からアーティスト
や若者が集まるインターナショナルな街。こ
こがドイツであることを忘れかけるくらい街中
で英語が聞こえてきます。イギリスのワーホ
リビザが取れなかった人にも人気の渡航先で
す。



4. ヨーロッパ各国への旅行が便利

ヨーロッパの真ん中に位置するドイツは9つ
の国と国境を接しています。電車も長距離バ
スも発達しているので、隣の国へは日帰り旅
行も可能です。飛行機でも片道100ユーロ程
度でヨーロッパ内の旅行ができてしまいま
す！ヨーロッパとひとくちに言っても国に
よって文化が違うので、ドイツ留学中に色々
な国を見て回るのもいい経験です！



5. 歴史と豊富な文化に触れられる

音楽好き？サッカー好き？おとぎ話の世界のような街並みが好き？歴史が好き？ビール好き？哲学や文学が好き？車が好き？あなたがドイツに興味をもったきっかけが何であれ、本場ドイツで自分の目で見て体験できることは留学の醍醐味です。日本とは歴史も文化も全く違う環境で生活することは、それだけで毎日が刺激と学びで溢れています！



6. ドイツ語ができると更にこんなに可能性が広がる

大学進学



ドイツの大学は7割以上が学費が無料の公立大学で、外国人でもドイツ人と同じ学費で学ぶことができます（バーデン＝ヴュルテンベルク州を除く）。セメスターフィーとして年間10万円程度の費用がかかりますが（金額は州によって異なる）、質の高い教育を安い学費で受けることができるのがドイツ大学留学の魅力です。ただし、大学入学条件としてドイツ語力の他に日本で一定の学歴を修めていることが求められます。

大学入学資格

- ✓ 大学（全日制）で4年以上勉強し学士号を取得している。
- ✓ 4年制（全日制）の大学の1年以上を各学年で32単位以上取得して終了している。
- ✓ 短期大学を卒業している。
- ✓ 高校で3年間通して国数英理の4教科を履修して卒業し、センター試験（共通試験）を受験している。

働く



ワーキングホリデービザを使えばドイツで働くこともできます。まずは語学留学で語学力をつけてからワーキングホリデーで仕事に挑戦するのもいいでしょう。500社以上の日系企業があるデュッセルドルフ、金融街のフランクフルト、スタートアップの多いベルリン、車産業のシュトゥットガルトなど街によって強みのある産業に特色があります。

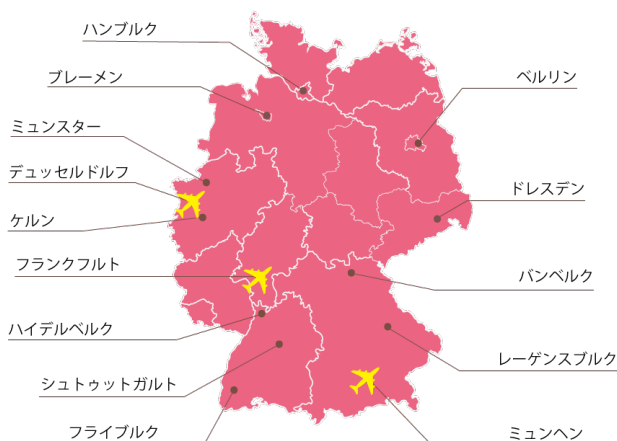
職人の資格を目指す



ドイツには41種の手工業、工業系を合わせると約350業種の、職人を養成し国家資格ゲゼレ取得を目指すための制度があります。3～4年間の研修Ausbildung（アウスビルドゥング）で国の補助金をもらいながら職人さんの下で資格取得の勉強をすることができます。製パン、製菓、フラワーアレンジメント、靴修理、時計作りなど分野はさまざまです。

7. あなたの好みに合わせて選べる渡航先

ドイツ留学の渡航先となる街は、それぞれが違った特色をもっています。大きい街、小さい街、近代的な街、歴史的景観の残る街、あなたの好みに合わせて留学先の街を選ぶことができます！



ドイツ留学都市ガイド

Berlin

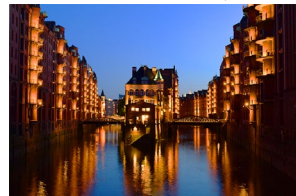
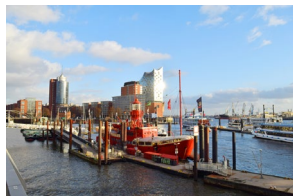
ベルリン



ドイツの首都であり最大の都市は世界中の若者やアーティストを魅了するホットな街。ドイツ語が話せなくても生活していけるほど英語が通じるので、ドイツらしさにこだわらない人、大都市で刺激的な生活をしたい人におススメです。大きい都市の中では物価が抑え目で、日本食レストランも多いのでバイト探しがしやすく、ワーホリにも人気です。

Hamburg

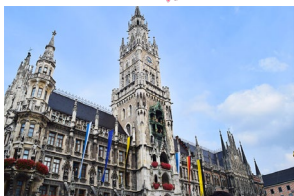
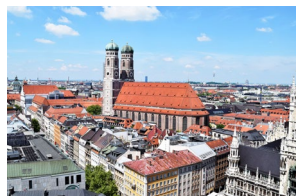
ハンブルク



ドイツ第二の都市であり最大の港街ハンブルクは、古くから栄える商業都市。ロマンチックなレンガの倉庫街やダイナミックな港、高級リゾートを思わせるアルスター湖周辺、モダンな街中など多様な雰囲気を楽しめます。冬は雪は少ないものの、どんよりと曇った日が続きます。港街なのでお魚が入手しやすいのは日本人の食生活には嬉しいポイントです。

München

ミュンヘン



オクトーバーフェストの本場であり、ビールやブレッツェル、ソーセージといったザ・ドイツのイメージを体現する街。ドイツ第3の都市でありながら歴史ある優雅な街並みが美しく、治安もよいです。物価の高さは国内1ですが日本食レストランも多くバイト探ししやすいのでワーホリにもおすすめです。アルプスが近いので冬は寒さが厳しいです。

Köln

ケルン



街のシンボルである迫力ある大聖堂で有名なケルンはルール工業地帯の中心であり、ドイツ第4の都市です。体育大学や音楽大学など教育機関が多く学生も多いです。毎年2～3月に催されるドイツ最大規模のカーニバルが有名で、県民性としてもフレンドリーでオープンなことで知られています。近隣の街含めサッカー熱が高い地域なのでサッカー観戦がしたい人にもおすすめです。

Frankfurt

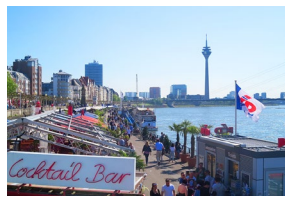
フランクフルト



EU銀行の本拠地があるフランクフルトはドイツだけでなくEU金融の中心です。ドイツの他の都市では見ることができない高層ビル群が特徴的です。金融街なので物価は高いですが日本食レストランが多く、仕事探しはしやすいです。日本からの直行便もあり交通の便がよいので周辺の街だけでなく、他の都市、国への旅行にも便利です。

Düsseldorf

デュッセルドルフ



EU最大の日本人街があることで知られるデュッセルドルフには、500社以上の日系企業があり多くの日本人が生活しています。日本からの直行便があります。日系企業も日本食レストランも多いのでお仕事探しは最もしやすい街といえます。サッカー熱も高く、試合のある日は街なかでもバーでビールを飲みながら観戦する人たちが盛り上がります。

ドイツ留学都市ガイド

Heidelberg

ハイデルベルク



丘の上にそびえる古城がトレードマークのハイデルベルクは、自然に囲まれ歴史ある街並みがとても美しい街です。フランクフルトから1時間弱と日本からのアクセスも良好で、パリまでも電車で3時間と国内外への観光にも便利です。ドイツ最古の大学を有する学生街なので治安もよく、美しい街並みの中落ち着いてドイツ語を勉強したい人におすすめです。

Freiburg

フライブルク



フランス、スイスの国境に近く、黒い森から近いフライブルクは環境都市として有名です。ドイツで一番日照時間の長い街なので、寒いのが苦手な人にも過ごしやすいです。木組みの建物やカラフルな建物に囲まれたこじんまりとした愛らしい街です。大学街なので学生が多く治安がいいので、落ち着いて生活したい人、初めての留学にも安心です。

Regensburg

レーゲンスブルク



世界遺産に登録されているドナウ川沿いの古都。カラフルなかわいらしい建物が立ち並ぶ絵本のように美しい街です。ミュンヘンから電車で約2時間なので、バイエルン州がいいけれどミュンヘンはちょっと大きすぎる・・・という人にお勧めです。学生が多く治安がよいので落ち着いて勉強に集中することができます。

Bamberg

バンベルク



バイエルン州の北部に位置するバンベルクは中世の街並みが残る、世界遺産にも登録されている美しい街です。街が小さいうえ学生が多いのでとても治安がよく、落ち着いて勉強に集中することができます。フランケン地方

Dresden

ドレスデン



バロック建築の宮殿や教会が気品ある雰囲気をもたす街。ゼンパーオーパーではほぼ毎日バレエやオペラが上演されるのでクラシック音楽好きにおすすめです。チェコとの国境に近い東ドイツに位置し、物価の安さは国内トップクラスなのも嬉しいポイントです。ドイツ最古のクリスマスマーケットも有名。



語学学校について

語学学校って
どんなところ？

- ✓ 最短 1 週間から受講OK
- ✓ 毎週月曜日が入校日
- ✓ グループレッスン (8-15名)
- ✓ 授業はドイツ語で行われる
- ✓ コースが選べる

語学ビザを取るためには週20コマ以上のドイツ語コースを受講する必要があります。そのため多くの学校が週20コマを基本コースとしていますが基本コースが週25コマという学校もあります。

1 コマは45分です。

週間スケジュール

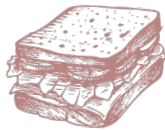
	月	火	水	木	金	土	日
午前	授業（週20コマ）					フリー	
午後	授業（週25コマ以上）						
放課後	フリー（アクティビティー）						

1日のスケジュール例

9:00	授業
10:30	休憩
11:00	授業
12:30	お昼休憩
13:30	授業
14:15	授業終了

週20コマコース
はここで終了

午前の授業が終わったら、学校の周りのカフェやスーパー、パン屋さんでサンドイッチなどを買って昼食をとります。



授業後は週に数回、街のツアーをしてくれたり美術館に行ったりと学校がアクティビティを企画してくれます。週末には近郊の街への遠出ツアーもあります。他のクラスの友達ができるチャンスなので参加してみるのもよいでしょう。

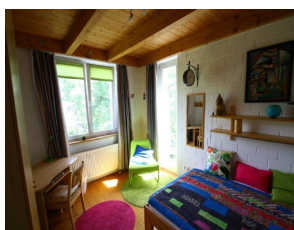


留学中の住まいについて

語学学校の受講期間中は、学校の提供する学生寮、ホームステイなどのお住まいに滞在することができます。あなたの希望の生活スタイルに合わせて選びましょう。

ホームステイ

ドイツ人の家庭に滞在して、現地の生の生活が体験できます。基本的に食事付きですが、学校によって朝食のみ、食事なしを選ぶこともできます。家の中でもドイツ語を使うので会話練習になるうえ、頼れる家族がいてくれるので初めての留学でも安心です。



学生寮

同じ語学学校の学生たちとの共同生活です。キッチンとバスルームを他の学生とシェアしながら生活します。部屋は1人部屋なのでプライバシーを保つことができます。自炊生活なので、好きな時に好きなものを食べられる自由さがあります。学校に近い場合が多いので通学にも便利です。



ホームステイ、学生寮のメリット・デメリット

	ホームステイ	学生寮
メリット	・ 現地の生の生活が体験できる ・ 頼れる家族がいるので安心 ・ 会話の練習になる ・ 第二の家族ができる	・ 友達づくりの場になる ・ マイペースな生活ができる ・ 学校に近いことが多いので通学に便利
デメリット	・ 家族のルールに従う ・ 学校から離れていることが多い（通学に時間がかかる）	・ 共同生活なのでシャワーの時間など気を遣う ・ 迷惑なシェアメイトにあたってしまうとストレス

その他滞在方法

アパートメント：キッチン、バスルームもすべて部屋についているタイプ。完全にプライベートな生活をしたい人向けですが、その分料金は高くなります。

組み合わせもOK!

ホームステイも学生寮も両方経験したい！という方は組み合わせもできます。最初はホームステイでドイツ語を使わざるを得ない環境に身をおいて語学力アップ！その後学生寮へ移るというのもおすすめです。

どのタイプも料金に光熱費、水道代、インターネット料が含まれます

おすすめの語学学校紹介

学校選びのポイント

目的やどんな環境で勉強したいのかによって自分に合った学校を選びましょう。選ぶ際の基準として以下のポイントを参考にしてみてください。

- ☑ 落ち着いた雰囲気 or 大人数でワイワイした雰囲気
- ☑ 1都市固定 or 都市を移動したい（複数キャンパスがある学校）
- ☑ コースが豊富
（テスト対策、ビジネスドイツ語、英語、音楽や芸術など）
- ☑ その他サービス
（ピアノ練習室がある、インターンの紹介、大学出願サポート、など）

F+U ランゲージアカデミー （ハイデルベルク校）

ドイツ最大級の教育機関の運営する語学学校。特にハイデルベルク校は日本人スタッフがいたので初めての留学にも安心の人気校です。ドイツ語コースの他にも英語コースがある他、外部機関との協力で音楽やサッカーのレッスン手配もしてくれるので、ドイツ語プラスの体験をすることができます。校内にスタンウェイのピアノ練習室があるので音楽留学を考えている人におすすめです。ベルリン校への移動も可。



F+U Academy of Languages
Heidelberg · Berlin · Darmstadt

カール・デュイスベルク・センター （ミュンヘン校）

ミュンヘンの中央駅からトラムで10分ほどの静かな住宅街にあります。校舎に学生寮も併設しているので通学も便利！授業数は週24コマ

週1、2回午後に行われるワークショップでは発音や文化、歴史なども学べます。しっかりとドイツ語を勉強したい人におすすめの学校です。ピアノの練習室もあります。ベルリン校、ケルン校への移動も可。



Carl Duisberg

BWS （ミュンヘン校）

人気のミュンヘンの中でも、旧市街にある抜群の立地条件。中規模の学校で、1クラス最大12人までなので一人一人の発言の機会も多くなります。初級クラスでは学校オリジナルのテキストを使うなどこだわりがあります。ドイツ語コースの他に英語コースやアートレッスンもあるのでドイツ語プラスの経験をしたい人におすすめです。ベルリン校、ケルン校への移動も可。



BWS
GERMANIA

おすすめの語学学校紹介

GLS (都市：ベルリン)

ドイツ国内最大のキャンパスを誇るGLS。キャンパス内には寮やカフェテリアだけでなく、レストランとホテルまであるという広大な敷地でキャンパスライフを楽しめる学校です。インターンの手配もしてくれるのでワーホリにもおすすめです。世界中の若者に人気のベルリンの中でもアーティストの多いオシャレな地区にあり、学校の周りにはカフェやブティックがたくさん。オシャレな留学生活を楽しみたい人におすすめです。



Colon (都市：ハンブルク)

70年近い歴史をほこる学校で、先生のクオリティーの高さに定評があります。学校はハンブルクの中心、すぐ側にはオペラもある豪華な建物の並ぶエリアにあります。授業は午前か午後好きな方を選ぶことができます。校舎はオシャレな建物で、各教室には絵画が飾ってあり美術館のような華やかな雰囲気の中勉強できます。学校の目の前にある寮もオシャレで人気があります。授業料が安いのも魅力で、大規模校で費用をできるだけ抑えたい人におすすめです。



アルパディア (フライブルク校)

フランス、スイスとの国境に近い大学都市フライブルク。学校は大学のすぐそばにあり、ヨーロッパらしいオシャレな建物で勉強できます。歴史ある街並みが美しく落ち着いた街で、学校もアットホームなので、日本人の少ない環境で落ち着いて勉強することができます。大学の学食や図書館を使うこともできるのも嬉しいポイントです。ピアノ練習室の手配、フライブルクの音楽学校への入学サポートもしてくれます。ベルリン校への移動も可。



トレフフンクト (都市：バンベルク)

小規模でとにかくアットホーム！毎週飲み会があり、生徒、先生、スタッフ、学校全体が家族のように仲がよい。毎週金曜日に全生徒からヒアリングをし、ちょっとした不満があれば翌週には即改善してくれます。1クラスの人数も平均8人と少人数なので発言の機会も多いです。人見知りが不安・・・なんていう人もこの学校なら大丈夫！バンベルクの街は世界遺産に登録されているとても美しい街なのでそんな環境で勉強できるのもおすすめのポイントです。



ドイツ留学のビザについて

ドイツに留学する場合、90日以内の滞在であればビザの取得は不要です。旅行するのと同じようにパスポートで入国し、学校に通うことができます。90日以上留学の場合、学生ビザかワーキングホリデービザの取得が必要です。

語学ビザとワーキングホリデービザでは条件が異なりますので、自分の目的に合ったビザを選びましょう。

	語学ビザ	ワーホリビザ
年齢制限	制限なし	申請時に18才から30才であること (取得できるのは1度きり)
期間	最長1年で語学学校に通う期間	最長1年
ドイツ語の授業数	最低週18時間(ドイツ語のみ)	制限なし
申請場所	ドイツ国内の滞在地を管轄する外国人局	・日本のドイツ大使館／領事館 ・ドイツ国内の滞在地を管轄する外国人局
残高証明の金額	853ユーロ×滞在月数	2,000ユーロ
仕事ができるか	不可(アルバイトも不可)	可(ただし1カ所で半年まで)
申請料	62～100ユーロ(滞在地による)	・日本国内：無料 ・ドイツ：62～100ユーロ

語学留学ビザの残高証明額について

語学ビザの取得には、毎月の生活費を証明できる十分な額の残高証明が必要です。**一か月あたり934ユーロ(約14万円)**が留学する期間に応じて必要です。例えば、6カ月であれば934×6カ月=5,604ユーロ(約84万円)、1年の場合934×12カ月=11,208ユーロ(170万円)が**学費とは別に必要になります**。

また、残高証明のために閉鎖口座(Sperrkonto)という特別な種類の銀行口座を開設する必要があります。

留学の予算を考える際に残高証明の費用も考慮にいれましょう。残高証明分の予算がとれない場合は語学留学が目的であってもワーキングホリデービザでの留学が可能です。

大学進学を目指す人のための学生準備ビザ

大学入学を目指して語学留学から始める場合、大学入学までに最長2年間滞在が認められる学生準備ビザというものがあります。

ドイツ留学の費用

留学にかかる費用にはこんなものが含まれます



学校費用

- ・入学費
- ・授業料
- ・テキスト代



航空券



保険料



滞在費

- ・光熱費
- ・水道代
- ・インターネット代



生活費

- ・食費
- ・交通費



おこづかい

留学を考え始めたら、現地で余裕をもった生活ができるように資金はしっかりと準備しましょう。学生ビザ、ワーキングホリデービザを申請するためには留学期間をカバーする旅行保険の加入も必須です。航空券代は、直行便、経由便、渡航時期やチケット手配のタイミングによっても金額が大きく変わります。安いチケットを購入できるよう、出発の2～3か月前には手配しましょう。



期間別留学費用のシミュレーション

	1週間	2週間	3週間	4週間
授業料	2～4万円	4～6万円	6～9万円	7.5～13.5万円
滞在費	2～4万円	4～9万円	4～9万円	8.5～17.5万円
航空券	12～20万円	12～20万円	12～20万円	12～20万円
生活費	1～2万円	2～4万円	3～5万円	3～5万円
保険料	0～3千円	0～4千円	0～5千円	0～7千円
合計	約17～30万円	約22～40万円	約27～48万円	約31～57万円

	3カ月	6カ月	8カ月	10カ月	12カ月
授業料	18～30万円	37～54万円	45～62万円	52～72万円	52～72万円
滞在費	22～53万円	45～113万円	55～140万円	69～175万円	69～175万円
航空券	12～20万円	12～20万円	12～20万円	12～20万円	12～20万円
生活費	9～15万円	18～30万円	24～40万円	30～50万円	36～60万円
保険料	0～2.3万円	3～4.5万円	4～6万円	5～7.5万円	6～9万円
合計	61～107万円	約115～222万円	約140～268万円	約168～325万円	約215～400万円

1€= ¥130

※実際の留学費用は学校、滞在方法により異なります。詳細はお問合せください。

留学準備の手順

語学ビザ

ワーキングホリデービザ

無料カウンセリング・学校手続き

- ・ カウンセリング後に都市、学校、渡航のスケジュールを決定
 - ・ 学校手続き
 - ・ パスポートの申請

6～3ヶ月前

・ 航空券の購入

・ 航空券の購入

・ 保険の加入

・ ワーキングホリデービザ申請

2～1ヶ月前

・ 保険の加入

・ 閉鎖口座開設準備

渡航の3カ月前から
2週間前までに申請
しましょう

渡航後でも可

直前準備

1年未満の留学は不要

- ・ 滞在先情報の確定
- ・ 海外転出届け
- ・ 運転免許の更新
- ・ 持ち物の確認

2週間前

・ 住民登録

・ 外国人局にてビザ申請

・ 住民登録

入国後

入国日から3カ月以
内に申請しましょう

弊社を通して提携先語学学校にお申込みいただくと無料で以下のサポートが受けられます。

ドイツ留学サポートセンター 8つの安心無料サポート

1. オーダーメイドの留学プラン作成
2. 語学学校の入学手続き
3. 滞在先滞・空港送迎の手配
4. 航空券購入サポート
5. 海外留学保険の手続き代行
6. ビザ申請サポート
7. その他手続き・準備のアドバイス
8. 留学中のメール&電話サポート

